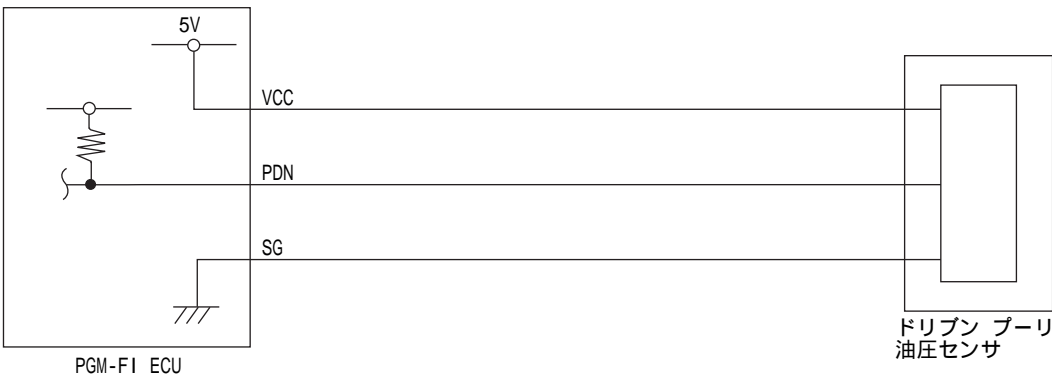


DTC 解説

DTC P0842: ドリブン プーリ油圧センサ回路 短絡 (CVT システム)

検知原理解説



01_P0501C_TM8A00

ドリブン プーリ油圧センサはドリブン プーリ制御圧（油圧）の変化をモニタしている。
PGM-FI ECU は、プルアップ レジスタを通して 5V の電圧を油圧センサに供給する。ドリブン プーリ油圧が低い際は油圧センサの電気抵抗は減少し、PGM-FI ECU は低い電圧を検出、ドリブン プーリ油圧が高い際は油圧センサの電気抵抗は増加し、PGM-FI ECU は高い電圧を検出する。
ドリブン プーリ油圧センサ出力電圧が規定値以下となった場合、PGM-FI ECU は故障と判定し、DTC をストアする。

検知頻度・検知順序・検知所要時間・検知手法種別・ OBD ステータス

検知頻度	常時
(当該 DTC の) 検知順序	なし
検知所要時間	10 秒間以上
検知手法種別	2D/C(2 連続検知手法)、PGM-FI 警告灯： 消灯、D 表示灯： 点滅
OBD ステータス	正常判定、故障判定、未完了

D/C: Drive Cycle(ドライブ サイクル)

検知実行条件

条件項目	
当該 DTC の検知禁止要求を行う DTC	P0843、P16C0

故障判定基準

ドリブン プーリ油圧センサ出力電圧 [ドリブン プーリ油圧センサ (V)] が 0.21V 未満の状態で 10 秒間以上継続した場合。

[]: HDS パラメータ

推定故障部位

- ・ PGM-FI ECU とドリブン プーリ油圧センサ間コード (PDN ライン) の地絡
- ・ PGM-FI ECU とドリブン プーリ油圧センサ間コード (VCC ライン) の地絡
- ・ ドリブン プーリ油圧センサの故障
- ・ PGM-FI ECU 内部回路の故障

DTC 解説

再現テスト手法

HDS を使用する方法

なし。

実際の代表的テスト走行による方法

1. エンジンを始動する。
2. セレクト レバーを P ポジションにして 10 秒間以上待機する。
3. イグニッション スイッチを OFF にする。
4. テスト走行ステップ 1 から 3 を繰り返す。

DTC のストアとクリア

DTC のストア

車両が故障と判定した場合、PGM-FI ECU メモリにテンポラリ DTC がストアされる。次回の D/C において同一の故障が検知 (2 連続検知) されると PGM-FI 警告灯が点灯することなく、D 表示灯が点滅し、DTC およびフリーズ データがストアされる。

DTC のクリア

スキャン ツール (HDS を含む) のクリア コマンドの使用、もしくはバッテリー端子の取外しにより D 表示灯、テンポラリ DTC、DTC およびフリーズ データがクリアされる。